

平成 28 年度弘前大学グローバル人材育成事業モデル事業

学 生 市 民 等 協 働 プ ロ グ ラ ム 報 告 書

申 請 者	所属部局・職名	教育学部
	氏 名	北原啓司
事 業 名	韓国・仁川市における旧日本人居留地を中心とした景観整備に関する調査研究	
事業の概要とその成果		
【構成メンバー】9名 <ul style="list-style-type: none">・チームリーダー (教育学部)北原 啓司(教授)・指導教員 (教育学部)李 秀眞(准教授)・参加学生 (地域社会研究科) 1名 " (教育学研究科) 2名 " (教育学部) 1名・市民, 企業人 (下土手町商店街) 1名 " (たびすけ) 1名 " (建築家) 1名		
【実施期間】 平成28年9月20日～平成29年2月24日		
【事業概要とその成果】 <p>前年度調査により明らかとなった韓国第二の都市である仁川の旧日本人居留区の日式住宅のリノベーションの実態を、継続的に定点観測することにより、昨年度は完成していなかった建物の完成後の活用実態までも明らかにすることができた(平成28年9月調査)。</p> <p>平成28年11月調査においては、我々が注目する日式住宅の改修物件が契機となって仁川市中区役所が始めた優れた建築物(改修したもの)の街歩きマップを入手し、すべての物件をメンバーで踏査した。平成28年12月調査においては、仁川市観光公社が展開するシティバスツアー(旧市街地と新市街地とをつなげる一日コース)を調査し、公共交通を使ったまちなか観光の手法を学ぶことができた。その結果として、平成29年2月調査において、調査時の現地で継続して協力をいただいている韓重澤氏(観光プロデューサー)の仲介により、仁川観光公社海外マーケティングチームの朴部長と金次長に面会することが可能となり、昨年度調査に同行していただいた坂本崇氏(弘前市観光協会)、今年の調査メンバーである西谷雷佐氏等が展開する路地裏探検を仁川市中区をモデルに提案するとともに、弘前の街なか観光を韓国からのインバウンド客に体験していただくための検討を行った。その成果として、3月上旬には、弘前市商工会議所会頭、弘前市観光協会長、同事務局長の仁川市観光公社への公式訪問へとつながることとなり、今後の両市の観光交流の進展が期待される。</p>		